

○参考資料3 管内の学校教育の現状

1 下北教育事務所学校教育指導の重点に係る管内の現状

令和5年度「下北の教育」の実践事項の反省 「○」は、全体的に取組が見られた
「△」は、十分な取組が見られなかった

(1) 授業の充実

1 年間指導計画に基づき、単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通した授業づくりを可能にする指導計画を作成し、指導と評価の一体化を図る。

- △ 作成した年間指導計画の有効活用
- 単元で育成を目指す資質・能力の明確化
- 単元や題材などのまとまりを見通した指導と評価の計画の作成
- 指導に生かす評価の積極的な実施

△^特「おおむね満足できる状況」の具体的想定

2 各教科等の特質に応じた「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくりをする。

(1) 教材研究の深化

- 知識及び技能の習得と思考力、判断力、表現力等の育成に向けた教材研究の充実
- ICT等の活用による個に応じた指導の実践

(2) 「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導の工夫

- 児童生徒に学ぶ意義や必要感をもたせる学習課題の設定
- 目的や意図を明確にした、教科の特質に応じた学び合いや言語活動の工夫
- 比較する、分類する、関連付けるなど、児童生徒の思考を働かせる問いの設定
- △ 各教科等の見方・考え方を働かせた「深い学び」の実現

(3) 各教科等の特質に応じた体験活動や問題解決的な学習を重視した指導の工夫

- 「学びに向かう力、人間性等」の育成を目指した、各教科等の特質に応じた体験活動の継続
- 児童生徒に問題意識をもたせる導入の工夫
- △ 児童生徒の思考の流れを重視し、問題解決の過程を明確にした授業展開

(2) 道徳教育の充実

1 道徳教育を推進する指導体制と全体計画を整備し、充実する。

- 校長の方針の下で、道徳教育推進教師を中心とした、全教職員が協力し合って道徳教育を展開する指導体制の充実
- 児童生徒、学校及び地域の実態を踏まえ、自校の重点内容項目を明記した全体計画の整備と全教師による共通理解
- △ 全体計画に基づいた各教科等における道徳教育の意図的な指導

2 「考え、議論する道徳」の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

△^特教師の指導の意図に基づいたねらいに迫る中心発問と、中心発問を深めていくための問い返しや揺さぶりの工夫

- △ 児童生徒が問題意識をもち、主体的に考え、話し合うことができるようにするための指導の工夫（発問、板書、ICTの活用、動作化・役割演技など）
- 授業における「学習状況（学びの姿）を見取る視点」の明確化

3 家庭や地域社会との連携に努める。

- 学校の道徳教育に関する情報の積極的公表（自校の道徳教育の方針や計画の公表・説明、道徳科の授業公開、道徳教育に関する意見交換の場の設定など）
- 家庭や地域社会との共通理解に基づく連携・協力体制の整備・充実

(3) 特別活動の充実

- 1 全体計画及び年間指導計画を作成し、児童生徒の自主的、実践的な活動を促す。
 - 校長のリーダーシップの下、特別活動の目標を効果的に達成するための調和のとれた全体計画の作成及び見直し
 - 地域や学校、児童生徒の実態を踏まえた4つの内容（中学校は3つ）それぞれについての年間指導計画の作成
- 2 学級活動において、児童生徒の自主的、実践的な取組を充実させるための指導を工夫する。
 - △**Ⓢ児童生徒が見いだした課題について、互いの意見を生かし、尊重しながら折り合いを付け、「合意形成」する話し合い活動の充実**
 - 集団での話し合いを生かした具体的な実践目標や方法等を「意思決定」する学級活動の充実
 - 将来の生き方を描くための「意思決定」に基づいた、キャリア形成と自己実現へ向けての実践の充実
- 3 児童会活動・生徒会活動において、児童生徒の自治的な意識を高めるための活動を計画的・継続的に行う。
 - 学校生活の充実や向上を目指した児童生徒の活動への支援
 - 異年齢集団の特質を生かした、人間関係を形成する力を養う活動の充実
- 4 クラブ活動において、児童の個性の伸長を図り、自主性と社会性を養う活動を工夫する。
 - ねらいの明確化及びよりよい人間関係の形成と個性の伸長を目指したクラブ活動の工夫
 - 異年齢集団の特質を生かした自主的、実践的な活動の充実
- 5 学校行事において、集団への所属感や連帯感を深められるよう工夫する。
 - 児童生徒が積極的に参加できるようにするための指導及び組織的な運営
 - 自己評価や相互評価を行う等、自己実現の喜びを味わわせる事後指導の充実

(4) 体育・健康教育の充実

- 1 運動に親しむ資質や能力の育成及び体力の向上に向けた指導を充実する。
 - 児童生徒の実態把握に基づいた2学年間の系統的な指導
 - 場や用具の安全、けがの防止に向けた指導の充実
 - 自ら運動に親しむ資質や能力の育成につなげる授業づくり
 - 「する・みる・支える・知る」の視点から運動に関わらせる指導の工夫
 - 運動の楽しさや喜び、価値を味わわせ、運動の習慣化につなげる活動の工夫
- 2 健康に関する知識を身に付け、積極的に健康な生活を実践できる指導を充実する。
 - 学校保健計画の組織的な実践と全教職員による評価、見直し
 - 学校保健計画や学校保健委員会等での協議内容に基づいた具体的な取組の家庭への周知と連携
 - 計画性、系統性のある保健に関する授業の実践とゲストティーチャーやティーム・ティーチングなどによる指導の充実
- 3 食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができる指導を充実する。
 - △ 児童生徒の実態を踏まえた目標設定及び成果指標・活動指標を明確にした全体計画の作成
 - 昼食の時間や各教科等における栄養教諭等と連携した効果的な学習の場の設定
 - 食に関する知識や関心を高め、家庭、地域と連携した実践意欲の継続を図る取組の工夫
- 4 安全に関する情報を正しく判断し、安全を確保することができる指導を充実する。
 - 家庭や地域、関係機関と連携した学校安全計画や危険等発生時対処要領（危機管理マニュアル）の定期的な見直し
 - Ⓢ実践的・実効的な避難訓練につなげる学校安全に関する研修の実施**
 - 安全な行動選択に必要な知識や判断力を身に付けさせるための各教科等の意図的、計画的な指導

(5) 生徒指導の充実

- 1 基本的な生活習慣や自己指導能力を育成する協働的な指導体制を充実する。
 - 各校の実態に基づいた生徒指導の方針の明確化
 - 生徒指導主任（主事）等を中心とした組織的対応の推進
 - △ 生徒指導に関する具体的な取組の定期的な評価・改善
 - 研修会等で得られた知識や情報の共有
- 2 生徒指導の機能を生かした学年・学級経営及び授業を充実する。
 - 学級を基盤とした、児童生徒一人一人が自己の存在感を実感しながら、共感的な人間関係を育み、自己決定の場を豊かにもち、自己実現を図っていける望ましい集団の実現
 - 教師との信頼関係に基づく、日常の授業における児童生徒の充実感・成就感を生み出す指導の工夫
- 3 児童理解・生徒理解を深める。
 - 人間的な触れ合いを基盤とした信頼関係づくり
 - 日頃の観察と複眼的な視野による児童生徒の実態把握
 - **㊦個別性・多様性・複雑性の理解に基づいた学校全体で取り組む教育相談の充実**
- 4 児童生徒が主体となるいじめ防止活動の推進と組織的な対応を徹底する。
 - いじめの定義等、「いじめ防止対策推進法」に関する教職員の共通理解
 - いじめの未然防止に向けた児童生徒の自主的・自治的な取組の推進
 - ハートフルリーダーを中心とした「学校におけるいじめの防止等の対策のための組織」によるいじめの積極的な認知と適切な対応
 - 「解消」の確認とその後の見守り
- 5 不登校の予防及び不登校児童生徒の社会的自立を目指した支援を充実する。
 - 不登校の未然防止に向けた、全ての児童生徒が安心して生活し活躍できる場面がある「魅力ある学校づくり」の推進
 - 不登校の傾向が見られる児童生徒への早期対応
 - 不登校の状態にある児童生徒に対する正しい理解に基づいた適切な支援
 - △ 学校、家庭、S C、S S W、関係機関などの役割を明確にした計画的な支援

(6) キャリア教育の充実

- 1 キャリア教育の指導体制を整備し、充実する。
 - キャリア教育担当者や進路指導主事を中心とした校内指導体制の整備
 - △ 自校の児童生徒の実態に応じた、育ませたい基礎的・汎用的能力を明確にした全体計画の見直し
 - △ **㊦教育活動全体との関連を意識した体系的・系統的な年間指導計画の作成**
- 2 キャリア発達を促す指導を充実する。
 - 学級活動(3)「一人一人のキャリア形成と自己実現」等、特別活動を要とした指導の充実
 - 児童生徒の成長や変容の把握及び将来の生き方を考えさせるための『あおもりっ子キャリア・パスポート～明日へのかけ橋～』等の活用
 - ガイダンスとカウンセリングとの相互の関連を踏まえた計画的・継続的な指導
- 3 家庭、地域住民等とねらいを共有し、それぞれの役割を明確化した上で連携・協働してキャリア教育を推進する。
 - 家庭・保護者との将来の生き方についての共通理解及び児童生徒への適切な支援
 - 地域住民等と連携・協働し、ねらいを共有した上での体験活動等の継続

(7) 特別支援教育の充実

1 校内支援体制を充実する。

- 特別支援教育コーディネーターが中心となった、全教職員による機能的な校内支援体制と関係機関等との連携
- △ 特別支援学級に在籍する児童生徒や通級による指導を受けている児童生徒の障害の種類や程度及び希望する進路等に応じた教育課程の編成
- 通常の学級に在籍する特別な配慮を必要とする児童生徒の特性の把握・支援
- △ 個別の指導計画等を用いて、支援内容・方法・場面・役割などを具体化し、教職員間で評価・改善を図るための校内委員会等の充実（通常の学級を含める）
- 特別支援教育巡回相談員等の外部専門家から受けた助言等の蓄積・共有・実践

2 個別の教育支援計画の作成と活用により、関係機関と連携した支援を充実する。

- 幼児期から学校卒業後までの長期的な視点に立ち、一貫して的確な支援を行うための個別の教育支援計画の作成と活用

3 個別の指導計画の作成と活用により、指導を充実する。

- 幼児児童生徒一人一人の障害の状態や特性及び発達の段階等の的確な把握に基づき、指導目標、指導内容、指導方法を明確にした個別の指導計画の作成と活用

4 交流及び共同学習による相互理解を促進する。

- 組織的、計画的、継続的な取組にするための校内の協力体制の構築
- 青森県交流籍制度に基づく、小・中学校と特別支援学校双方の児童生徒にとって教育の効果が高まる居住地校交流の実施
- △ 小・中学校等の通常の学級と特別支援学級双方の幼児児童生徒の教育的ニーズを把握した授業実践

(8) 環境教育の推進

1 教科等間の関連を踏まえた指導を工夫する。

- △ 環境教育を担当する分掌等の明確化と全教職員による共通理解
- **各教科等を相互に結び付けた各学年の計画的な指導**
- 身に付けさせたい資質・能力を踏まえた効果的で継続的な指導の工夫

2 地域の環境の実態に即した指導を工夫する。

- 児童生徒の興味・関心や問題意識を生かした学習活動の工夫
- 身近な環境問題と地球規模の環境問題を関連付けて考えさせる指導の工夫

3 環境にかかわる体験活動を充実する。

- 地域人材や関係団体、社会体験施設等を積極的に活用した体験活動の充実
- 活動の充実を図る事前指導の工夫と、児童生徒の意識化・行動化を促す事後指導の工夫

(9) 国際化に対応する教育の推進

1 郷土に対する愛着と誇りを涵養する教育を推進する。

- 我が国と諸外国の文化や風土における類似点や相違点、及びそれらを育んできた国々の良さに気付かせる体験的な指導の工夫

2 外国語教育の充実による、外国語を通じたコミュニケーション能力を育成する。

小・中学校共通

○**身に付けた知識・技能を実際のコミュニケーションにおいて、相手や話題を替えて、繰り返し活用させる言語活動の設定**

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の充実

小学校

- 外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませることによるコミュニケーション能力の素地及び基礎を養う授業の充実
- 既習内容を確認し、どのように言語材料が扱われてきたのかを十分に把握した上での系統性のある指導の工夫
- スマールトークなどの言語活動における外国語指導助手等の効果的な活用

中学校

- △ 小学校での学習状況（授業時数・学習内容等）の把握や生徒の実態に基づいた授業の工夫
- △ 学習到達目標「CAN-DO リスト」の生徒との共有化及びパフォーマンステスト等による達成状況の把握
- 4技能（5領域）をバランスよく育成するための単元の指導計画の工夫及び計画的な実施

3 異なった文化や習慣をもつ人々との交流を推進する。

- 地域人材を活用し、総合的な学習の時間等において、講演や文化の紹介を実施するなど、地域に根ざした国際交流活動の積極的な推進
- △ ICT等を活用した諸外国の姉妹・友好提携校との交流の推進

(10) 情報化に対応する教育の推進

1 情報教育を推進する指導体制を整備し、充実する。

- 児童生徒の発達の段階に応じた情報活用能力を育成するための、各教科等の学習内容と関連付けた系統的・体系的な指導計画に基づく実践
- 情報教育を推進していく教員を中心としたICT活用指導力の向上に関する校内研修の充実

2 学習指導におけるICTの適切な活用を推進する。

- 単元の目標を達成するための1人1台端末を効果的に活用した授業実践

△**学びを深めるためのICTの効果的な活用**

3 情報通信ネットワーク等を適切に活用した教育を推進する。

- △ 個々の児童生徒の状況に応じた遠隔教育の導入

4 児童生徒の発達の段階に応じて、系統的な情報モラル教育の取組を充実する。

- 系統的な情報モラル教育の充実
- △ 学校と家庭・地域・関係機関との連携・協働
- 情報や情報技術の特性の理解に基づいた情報機器を正しく活用する力の育成
- 情報機器の使用と健康との関わりについての指導の充実

(11) 研修の充実

- 1 学校の教育課題解決のための実践的研究を充実する。
 - (1) 学校の教育課題解決に向けた、全教職員が参画した校内研修の推進
 - △ 育てたい資質・能力を明確にした、目指す児童生徒像の共有
 - △ 研究仮説検証に向けた「日常的な実践が可能であるか」、「検証が可能であるか」の視点を踏まえた研究内容の焦点化と研究方法の具体化
 - 諸検査及び諸調査等の結果分析による、研究内容や研究方法の適切な評価と見直し
 - (2) 学習指導要領に基づく実践的研究の推進
 - 学習指導要領の趣旨や内容を踏まえた具体的な実践に結び付く研修の推進
 - △**授業づくりや指導方法の改善及び学習評価の在り方に関する研修の実施**
 - (3) 研究協議の活性化
 - 授業参観の視点を焦点化し、全教員が主体的に参加できる研究協議の実施
 - 協議の成果と課題を異学年や他教科での実践に生かすまとめの工夫
- 2 教員等の資質の向上に向けた取組を充実する。
 - △ 指標を踏まえた研修の推進（各種研修動画やオンデマンド型研修等の有効活用）
 - 学校安全に関する研修の実施
 - 特別支援教育の目的や意義についての理解を深める研修の実施
- 3 家庭や地域社会と連携し、地域の教育資源を活用した特色ある教育活動を研究・推進する。
 - 児童生徒や地域の実態を適切に把握し、全教職員の協力体制の下で研究を重ねた、カリキュラム・マネジメントの実践

(12) へき地・複式教育の充実

- 1 へき地の三特性（へき地性、小規模性、複式形態）を生かし、地域に根ざした特色ある教育活動の推進に努める。
 - 地域との密接なつながりを生かした校外学習・体験学習の実施
 - 校内研修の充実と、それを生かした児童生徒の主体性の育成を図る指導の実践
 - 遠隔教育を導入するなど、多様な価値観にふれるための学習活動の工夫
- 2 複式学級における単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通した授業づくりを可能にする指導計画を作成し、効果的活用を図る。
 - △ 変則複式における2つの学年の関連を考慮した単元の配列等の工夫
- 3 複式学級における「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業づくりをする。
 - (1) 教材研究の深化
 - 問題解決的な学習の重視
 - 直接指導、間接指導及び同時間接指導の特長を理解した上での、学習活動が効果的に行われるための「わたり」と「ずらし」の工夫
 - △ ICT等の活用による個に応じた指導の実践
 - (2) 「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導の工夫
 - △ 対話の必要感をもたせる学習課題の設定
 - 一人一人の学習の過程や成果の把握に基づく個に応じた適切な指導**
 - 児童生徒が自分たちの力で学習を進めたり、児童生徒相互で考えを深め合ったりするためのガイド学習等の手立ての工夫

(13) 幼稚園教育の充実

1 幼稚園教育において育みたい資質・能力及び「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の育成を図る。

(1) 各領域の「ねらい」の理解と「内容」の総合的な指導

○ 自園の「領域別指導の重点」を踏まえた確実な指導・評価・改善

(2) 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を考慮した指導

○ 3歳児や4歳児の時期から幼児が発達していく方向を意識した、それぞれの時期にふさわしい指導の積み重ね

2 カリキュラム・マネジメントの充実を図る。

(1) 適切な教育課程の編成と評価・改善

○ 育みたい資質・能力の明確化と教育課程の実施状況の評価と改善

○ 家庭や地域との連携及び協働による「社会に開かれた教育課程」の実現

(2) 長期的・短期的な指導計画の作成及び評価・改善

○ 幼児理解に基づいた具体的なねらいや内容等を設定した長期及び短期の指導計画の作成とそれに基づいた環境の構成及び援助の実践

○ 「環境」を通して見られる幼児の具体的な姿の継続的な観察及び記録（保育実践記録）とその日常的な共有

(3) 安全に関する指導

○ 全教職員による機能的な安全管理と指導の継続

(4) 家庭や地域社会との連携

○ 地域の自然や人材などの積極的な活用と家庭との連携による豊かな生活体験の獲得

3 小学校教育との円滑な接続を図る。

(1) 小学校との意見交換、合同の研究会や研修会、保育参観や授業参観などの連携

△[㊦] 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の共有

△ 幼稚園のアプローチカリキュラムと小学校のスタートカリキュラムの相互の共通理解とアプローチカリキュラムの確実な実践

(2) 特別な配慮を必要とする幼児への指導

○ 個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成と活用による全体的な発達を促す指導

○ 家庭、地域及び医療や福祉、保健などの業務を行う機関との連携による長期的な視点での幼児への教育的支援

4 計画的・積極的な研修を推進する。

(1) 園内・園外研修の充実

○ 全教職員の協力体制の下、教職員一人一人の特性が生かされる研修の推進

(2) 教育課題解決のための教育要領に基づく実践的研究の充実

△ 指導の方向性を明確に示した研究内容と、保育実践記録を基にした幼児の姿の評価の位置付け